

平成30年8月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成30年8月16日(木) 午後2時30分～午後3時50分
2. 場 所 市立公民館3階 講座室4
3. 出席者
教育長 樋口 利彦 教育長職務代理者 野口 和江 委 員 中野 俊勝
委 員 谷口 馨
4. 事務局出席者
教育総務部長 藤原 淳／学校教育部長 谷 桂輔／生涯学習部長 濱上 剛志
総務課長 山田 潤／学校給食課 山本 隆彦／学校管理課長 山本 千尋
産業高校学務課長 小林 大樹／産業高校教頭(全日制) 西村 元博
学校教育課長 倉垣 裕行／人権教育課長 長岡 英晃／生涯学習課長 西尾 征樹
スポーツ振興課長 津田 伸一／郷土文化室長 西川 正宏／図書館長 溝端 多賀子
総務課参事 松本 秀規／総務課参事 高井 哲也

開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に野口教育長職務代理者を指名した。
傍聴人0名。

○樋口教育長

ただいまから、平成30年度8月の定例教育委員会会議を開催します。

報告第54号 補正予算について(事業費補正)

○樋口教育長

報告第54号について、説明をお願いします。

○山本学校管理課長

報告第54号につきましては、補正予算(事業費補正)についてです。

平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震において小学校ブロック塀が倒壊し、女兒が下敷きになり死亡する事故が発生いたしました。この事故を受けて、6月19日から22日まで学校園に設置されているブロック塀の緊急点検を一斉に実施いたしました。その結果に基づき、児童生徒の登下校時の安全の確保、保護者や学校園周辺の住民の不安の解消等を考慮し、道路側に設置されている学校園のブロック塀を先行して夏休み中に撤去し、フェンス等への改修を実施することとなりました。

道路に面するブロック塀の数は19校園で48箇所、概算事業費が100,212千円となります。また、平成31年度以降につきましては、道路に面していない民地境界部分について行う予定です。ブロック塀を夏休み中に撤去し、フェンス等へ改修することについては、緊急に補正予算を措置する必要があり、市議会を招集する時間的余裕がないため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行いました。平成30年第3回定例市議会において、平成30年度一般会計補正予算の専決処分報告を行うものです。

また、歳入・歳出予算補正見積書ですが、先ほどの概算事業費100,212千円の補正となっています。小学校、中学校、幼稚園及び保育所を対象に専決処分を行いました。それ以外の施設につきましては、第3回定例市議会への補正予算計上ということで進めています。

○樋口教育長

説明が終わりました。今回、ブロック塀の安全対策についての報告がありましたが、本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口教育長職務代理者

たくさんの学校園がありますが、夏休み中、順調に進んでいるのですか。

○山本学校管理課長

現在、全てにおいて事業者が決まっております。順次、撤去に取り掛かっており、夏休み中には、ほぼ終わるようになっていますが、遅くともブロック塀の撤去だけは、夏休み中に行うように事業者へ指導しています。

○野口教育長職務代理者

フェンスの設置は、2学期にずれ込む可能性もあるということですか。

○山本学校管理課長

一部でずれ込む可能性があるかもしれません。

○中野委員

高槻市の痛ましい事故があつて、早速対応してもらつて良いことだと思つています。

現行の建築基準法に適合していないものがある、ということをお聞きしておいたのもどうかという気がします。ただ、予算のこともありますので、すぐに出来ないのかと思つています。適合していないものについては、子供たちが立ち入らない、近くに寄らないなどの適切な措置は必要です。

○山本学校管理課長

はい。そのことにつきましては、黄色地に赤字で「注意」というシールを作つていますので、学校で貼つていただくようにしています。基本的に小学校、幼稚園につきましては、現行の建築基準法に適合しているものであつても、中の鉄筋がどうつ状況下確認ができていませんので、平成30年度及び31年度で、すべて撤去してスチール製のフェンスに取り換えるよう進めております。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 55 号 平成 30 年度 岸和田市水練学校のまとめについて

○樋口教育長

報告第 55 号について、説明をお願いします。

○倉垣学校教育課長

報告第 55 号につきましては、平成 30 年度 岸和田市水練学校のまとめについてです。

市内小学校 5・6 年生児童を対象として、正規の泳法を指導し、水泳の普及発展を図り、健康の増進に寄与するとともに、集団生活訓練の実をあげるため実施いたしました。

期間は、7 月 23 日（月）から 8 月 2 日（木）の土曜日及び日曜日を除く 9 日間の午前中に実施しました。募集人員は例年どおり 800 人で申込総数は 489 人でしたが、事前のキャンセルが 10 数人いまして参加人数は 477 人でした。児童進級状況につきましては今年度と昨年度の状況、また指導員の出勤状況を資料に掲載させていただいています。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○中野委員

今年度、プールサイドに水筒を置くなどして熱中症対策をとって、無事に実施していただき、みなさんの努力に感謝しています。今年度と昨年度の児童の進級状況ですが、上級以上については今年度 208 名、昨年度 262 名となっています。中級では今年度 211 名、昨年度 157 名です。初級は今年度 56 名、昨年度 67 名です。上級以上に進んだ人数の差が、そのまま中級に留まっているような結果に見えます。暑さのせいもあったのかなという気がしますが、その結果の違いがどうだったのかわかれば教えてください。

○倉垣学校教育課長

正確な原因は掴み切れていないところもありますが、今年度、熱中症対策ということで、休憩や体を冷やす時間を設けることで、指導時間を若干短縮したことも影響したのかなと考えられます。また、平成 28 年度データで見ると、中級以上が 86.7%、上級以上が 47.5%ですので、その年度の申込む児童によっても差があることも見受けられます。

○谷口委員

後ほどの議案になりますが、評価委員会委員の意見で「水練学校の参加者をできるだけ増やしてほしい」とありました。先日のテレビで、修学旅行生 168 名が亡くなった紫雲丸沈没事故というものが、「泳げないといけない」ということから水練学校が始まったと報道されていました。全児童数からすると、15%くらい的人数しか参加されていないということになります。習いに行っている児童もたくさんいると思いますが、最近の事故を見ても“水の中でどう生きていくか”が非常に重要だと思いますので、その辺を来年度に向けてもっとアピールしていただければ有難いと思いますので、よろしくをお願いします。

○倉垣学校教育課長

広報の方法などについて検討させていただきます。

○野口教育長職務代理者

例年気になっているのですが、全てキャンセルの方は別として、今年も毎回、何名か欠席者がいますが、やはり宿泊学習と重なった学校はかなりあるのでしょうか。

○倉垣学校教育課長

7月の最終週辺りは、臨海や林間学校が重なっている学校がありましたので、その学校の児童は水練学校に来られていません。

○野口教育長職務代理者

学校の理解をいただいて、宿泊学習の日程などに配慮を頂けると有難いと思います。その影響でしょうか、指導員の数が日によって差があって、全体的には去年よりも指導員の数は減っていると思いますが、多い日で48人、第5日では20人でした。子供の数からして指導員の数が半分になると、非常に厳しかったのではないかと思います。

指導員についても学校の理解を得て、若手の元気な先生方には、是非、子供たちの水泳指導について学ぶという面も含めて参加していただけるように、より強い働きかけをしていただけたらと思います。

○倉垣学校教育課長

学校に依頼させていただきます。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第56号 第72回大阪府総合体育大会・泉南地区大会成績及び中央大会出場について

○樋口教育長

報告第56号について、説明をお願いします。

○津田スポーツ振興課長

報告第56号につきましては、第72回大阪府総合体育大会・泉南地区大会成績及び中央大会出場についてです。

泉南地区大会の試合結果で中央大会に出場となります。中央大会の岸和田市での開催は、8月19日（日）に総合体育館で剣道の種目を行います。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口教育長職務代理者

中央大会は、どこのエリアの大会ですか。

○津田スポーツ振興課長

大阪府には7つのブロックがありまして、そのひとつに泉南地区があります。その大会で勝ち進んでいくと、大阪府下全域での中央大会ということになります。泉南地区大会で優勝もしくは準優勝した者が、中央大会で他のブロックから出場する者と試合をします。

○野口教育著職務代理者

大阪府全体の大会と捉えたらいいですね。

○津田スポーツ振興課長

はい、そうです。

○中野委員

大会への参加というのは、市民の健康の保持・増進の大きなきっかけになっていると思います。スポーツ活動の継続的で、広範囲な参加を願いたいと思います。今年度 21 種別の出場で、特に泉南地区大会の成績で中央大会への出場が 17 種別で、昨年の 12 種別より増えています。成果を期待したいと思います。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 57 号 NHK公開講演会 「京（みやこ）のかたな」

○樋口教育長

報告第 57 号について、説明をお願いします。

○西尾生涯学習課長

報告第 57 号につきましては、NHK公開講演会「京（みやこ）のかたな」です。

昨年度に引き続き、NHK 大阪放送局と共催でさせていただく事業です。

岸和田市立公民館では「自前主義からの脱却」に基づき、ネットワーク型行政を一層推進するために、開催するものです。日時は 10 月 17 日（水）、開場が 13 時 30 分で、開催時間は 14 時から 15 時 30 分までの 1 時間 30 分、岸和田市立公民館多目的ホールで行います。講師は、京都国立博物館工芸室主任研究員の末兼俊彦様です。この方は、昨年末から今年 2 月の特集陳列「刀剣を楽しむ」で、期間中の名品ギャラリー来場者が述べ 8 万人に及んでいるということで、それだけ造形が深い方です。申込方法は昨年と同様、必要事項を記載のうえ、郵便往復はがきで申込みいただきます。1 枚につき 1 名の申し込みで、応募多数の場合は抽選となります。締切は 9 月 28 日（金）で、広報きしわだ 9 月号及びチラシで周知いたします。申込みが少ない場合には、NHK 放送枠でお知らせします。参加費は無料で、定員は 150 名です。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

昨年も定員が 150 名でしたが、満員でしたか。

○西尾生涯学習課長

はい、満員でした。

○中野委員

講演会のタイトルは、ちょうど 9 月 29 日から京都国立博物館で開催される特別展とタイアップとなる講演会ですね。

○西尾生涯学習課長

はい、そうです。

○中野委員

関心が高いと思います。講師の末兼俊彦氏ですが、先月に祇園祭の長刀鉾の長刀が天文5年の天文の乱で略奪されて、これを近江の刀鍛冶が買い戻して八坂神社に奉納していました。このことを長刀の調査から末兼氏が突き止めた、と新聞記事になっていて今話題の人です。

講演は、鉄を産出しない山城の国の山城鍛冶による平安中期から江戸初期までの話が中心になるのかなと思います。

本市では2月から6月まで、岸和田城企画展「よみがえる甲冑、かがやく刀剣」を催したばかりですので、一層関心が高まると思います。盛会を願っております。

○西尾生涯学習課長

ありがとうございます。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第58号 図書カードの寄附について

○樋口教育長

報告第58号について、説明をお願いします。

○溝端図書館長

報告第58号につきましては、図書カードの寄附についてです。

図書カードを100,000円分、児童書購入に使用するため、大阪市浪速区日本橋西の泉州キワニスクラブ様から8月10日にご寄附いただきました。泉州キワニスクラブ様からのご寄附は、今回初めていただきましたが、堺市を除く泉州地域の各自治体に順番にご寄附されています。今年度は、岸和田市と貝塚市へのご寄附ということでした。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○中野委員

寄附を受けた意図を活かして、その図書カードの活用を考えていただく必要がありますね。

○溝端図書館長

はい。

○樋口教育長

これから児童図書の選定をするのですね。

○溝端図書館長

はい。泉州キワニスクラブ様からは、児童虐待防止ということで、子供たちの健全な発育などに資するものに利用をしてくださいということでしたので、どのような図書で、どのように使わせていただくかを今検討させていただいています。

○樋口教育長

よろしく申し上げます。ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。報告は以上ですが、ほかに報告はないでしょうか。ないようですので、議案の審議に移ります。

議案第 39 号 岸和田市教育委員会の点検・評価報告書について

○樋口教育長

議案第 39 号について、説明をお願いします。

○山田総務課長

議案第 39 号につきましては、岸和田市教育委員会の点検・評価報告書についてです。

平成 30 年度岸和田市教育委員会の点検・評価報告書（案）がまとまりましたので、ご審議をお願いするものです。点検・評価の経過につきましては、6 月に第 1 回評価委員会を開催しまして、各担当課からそれぞれの事業について点検・評価したものをシートにまとめて、評価委員会委員の方々からご意見等を頂戴しました。そのご意見について、教育委員会で内容の修正等を行いまして、8 月 3 日に第 2 回評価委員会を開催しました。そこで、教育委員会の考え方等を説明した上で、報告書（案）をとりまとめております。教育委員会会議でご了承いただきましたら、第 3 回定例市議会へ報告いたしまして、議会が終了した後にホームページへ掲載するとともに、広報広聴課、各市民センターなどに閲覧いただけるように配置いたします。広く市民にも公表・公開ということで対応していきたいと考えています。

○樋口教育長

説明が終わりました。委員のみなさんはもうご存知だと思いますが、市民への説明責任を果たし、信頼される教育行政をするため、特に学識経験者の知見を活用しながら、業務の点検・評価を行い報告書としてまとめられたものです。平成 29 年度の施策事業が対象となります。

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。報告書については出来上がっていますので、委員のみなさんのご意見等につきましては、次年度に活かしたいと思います。

○野口委員

昨年お願いしていた予算について、大きな差があることについての説明を入れてくれて、すごくわかりやすくなったと思います。全体については、ていねいに行っていると感じを持ちました。項目番号ごとに意見等を言わせていただきますので、全て言わせていただいた後に、各課から何かお聞かせいただけることがありましたら教えていただきたいと思います。

《項目 No. 1 公立幼稚園における 3 年保育の段階的实施にむけた体制の整備》

事業の目的には、豊かな心や生きる力の基礎となる幼児教育の充実と待機児童の解消の 2 本柱になっていると思いますが、評価や今後の課題・方向性では、募集人員に対しての応募数や待機児童数などの人数のことが書かれています。幼児教育の充実についての内容が記載されていないように思います。教育としての本来の目的である教育の充実の中身がどうだったのかも入れていただきたいと思います。

《項目No.2 学力向上支援事業・読書活動事業の推進》

学力向上の施策の成果が、全国学力・学習状況調査の結果としてはなかなか現れない現状の中で、授業改善アドバイザーを派遣して取り組んでいます。市民の感情からすると、その効果に疑問を持たれかねないのかなと少し心配しています。画一的な授業をするのは論外だと思いますが、岸和田市としてどのように授業が改善されてきているかについては、明確にする必要があるのではないかと思います。

《項目No.3 「あゆみファイル」の活用》

介助員や特別支援教育支援員、学生支援員と記載がありますが、それぞれの役割が市民の目から見たら少しわかりにくいのではないかと思います。

今後の方向性として、最も増員が望まれるのは、どういうことをしていただく、どういう方なのかということ、方向性としてはっきりと出していただけたら有難いと思いました。

「あゆみファイル」は就学前の幼児の時から社会に出るまで活用されるものですが、義務教育終了後はどのように扱われるのかが少しわかりにくいと思いました。

《項目No.5 研修・啓発の充実》

評価に“参加体験型の研修が効果的だった”とありましたが、どのような内容なのだろうと思いました。

《項目No.7 自ら進路を選択・決定する力の育成》

職場体験学習は、生徒の進路選択に大きな影響を与えることにもなり得ると思います。事業所の協力を仰ぐ中、協力がなければできないことですが、生徒の希望する職場が叶えられて、子供たちがそれを活かすことができているのかどうか教えてください。

《項目No.11 子どもの安全確保事業の充実》

子どもの安全確保事業は、本当に大切なものですが、スクールガードリーダーは中学校区に1人配置されていて、それが2名から3名になると書かれています。校区に1人で、どのような活動をされていて、どのような効果があったのかが分かるとうれしいなと思いました。

子ども安全見守り隊の減少は、ボランティアということから人数の多い少ないが出るのはやむを得ないということですが、自身も一員として参加していて本当に厳しいものがあります。ただ、何かあってからでは取り返しがつかないので、より一層の協力を地域へ教育委員会としても求めていかないといけないと思います。個人的に参加する者として、暑さ、寒さ、大雨など大変なものもありまして、その時に子供たちから元気なあいさつをしてもらっただけでも元気をもらえ、頑張ろうという気持ちにもなります。子供たちへのていねいな指導を、学校へもお願いしていただけたらと思います。

《項目No.13 「第2次岸和田市子ども読書活動推進計画」の実行》

図書館利用の増加を図るための利用方法の周知について、今後の方向性に出していますが、WEBページでの予約方法が利用しやすく有難く思っています。何回か利用していますが、検索しても4分の3以上は、“見当たりません”と出てきてがっかりすることが多いです。

限られた予算ではありますが、購入図書について市民の希望を出す機会などが設けられていま

すか。購入がどのように決定されているのか、はっきり出ていると良いなと思いました。

《項目No.15 各種スポーツ教室等の開設》

スポーツ教室の利用回数や人数が減少していて、“開催教室の固定化が進んでいるため、市民ニーズに合わせた内容を検討する”と今後の方向性が出されています。また、大阪体育大学との連携とありますが、連携してどのようにしていこうとしているのかが、もう少しはっきりとわかれば良いなと思いました。

初心者水泳教室の受講者の保険の充実に予算が増加したことは、有難いことだと思いました。

○樋口教育長

いろいろとご意見いただきました。各課から何か補足などがありましたらお願いします。

○山田総務課長

《項目No.1 公立幼稚園における3年保育の段階的实施にむけた体制の整備》

委員がおっしゃるように目的として大きく2つありますが、“豊かな心や生きる力の基礎となる幼児教育の充実を図る”部分について、ご指摘のとおりコメントがございません。評価のうえでは、3歳児教育を進めることによって、従来4歳児、5歳児が対象であった幼稚園に自分たちよりも下の年齢の子供たちが入園され、その中でお世話をしたり、他者を愛する心であったりという部分においての有効性も目的の中に十分含まれてくると思われますので、その辺の育ちという部分を実際に記載していければと考えています。また来年しっかりと考えていきます。

○長岡人権教育課長

《項目No.3 「あゆみファイル」の活用》

支援員や特別支援教育支援員、学生支援員の違いについての説明を、来年度、工夫していきたいと思います。今後の増員の方向性では、支援員の増員を一番要望しているところです。もうひとつ義務教育後のことについては、システムはできているのですが、就学前から小学校へ、または小学校から中学校へはスムーズに出来ているのですが、それと同じようにできていない中学校から高校への連携が課題になっています。「あゆみファイル」は個人の持ち物になりますので、保護者へは「必ず高校へ送ってほしい」と伝えているのですが、高校へ提供するののために持っているのか、原因がはっきりしていません。

《項目No.5 研修・啓発の充実》

2点ありまして、それぞれの人権課題の当事者の方に来ていただくことを進めています。その中で、例えば、参加型はワークショップの形式の研修であったり、参加されている先生方に実際に車いす体験をしてもらったりすることが、すごく良い効果があります。

《項目No.7 自ら進路を選択・決定する力の育成》

職場体験につきましては、いろんな事業所に依頼をして広めていっているところですが、子供の本当のニーズが全て叶っているかというところ難しいところです。学校がいろんな情報を得ながら、市内一覧表を使い、活用しながら増やしていっている状況です。

○樋口教育長

あゆみファイルのことで言いますと、高校と連携協議会というのがありましたよね。そういう

ところで、高校の校長などが出席されているときに聞けますね。

○長岡人権教育課長

その時に情報の提供もさせていただいています。あゆみファイルを持っている子供で、普通科の高校へ行かれる場合もあります。そういう場合にあゆみファイルを引き継がれていないことがあります。

○樋口教育長

他に補足等ありませんか。

スクールガードリーダーについての話しもありましたが、今回であれば久米田中学校区と岸城中学校区で、複数の小学校区をまたがって安全のために巡回していただいているのですね。この方々は、各小学校区で何か安全のために活躍されているのですか。

○西尾生涯学習課長

基本的に校区に1人いるわけではありません。現在、岸和田市内で3人だけです。この方々は、警察OBです。子ども安全見守り隊の方と情報交換をしながら、自転車で巡回しています。他市ではバイクで巡回していると聞きます。複数の校区にまたがって巡回して、活躍していただいていると認識しています。

○野口教育長職務代理者

その方たちは、子ども安全見守り隊のような帽子などを身に付けているのですか。

○西尾生涯学習課長

そういうのはございませんが、わかりやすい服装でいただいています。

○野口教育長職務代理者

スクールガードリーダーとわかりやすい服装で巡回しているのですか。

○西尾生涯学習課長

“ガードリーダー”とは書いていませんが、わかりやすい服装です。

○樋口教育長

黄色のベストを着ていませんか。

○西尾生涯学習課長

それは子ども安全見守り隊です。

○野口教育長職務代理者

子ども安全見守り隊はベストや旗など持っています。

○樋口教育長

野口委員からのご指摘やご意見を、次年度に活かさせていただけたらと思います。

○中野委員

《項目No.2 学力向上支援事業・読書活動事業の推進》

毎年、全国学力・学習状況調査の結果を適切に分析して、学力向上支援事業が組まれて実施していますが、残念ながら良い結果が生まれていません。対策としていろいろとありますが、子供たちにとって学校現場でのわかる授業、魅力ある授業とするための学習指導の充実が、最も重要

な取組だと思っています。そこで、全小中学校での学校活性化計画の作成によって、真に成果のあるものとしていただきたい。実際には、全国平均を上回る結果を出している学校もありますので、その成果を共有するようすべきだと考えています。また、「自学ノート」についてですが、自分の学力に応じて計画的に取り組むことができる身近なもので、これも成果のあるものとしてもらいたいと思います。ただ、「自学ノート」は、児童生徒がノートを埋めることが目的になってしまうと頭を使わない時間だけの浪費になるので、そのようにならないような適切な指導が必要だと思っています。

《項目No.3 「あゆみファイル」の活用》

毎年、支援学級在籍者が増えていて、「あゆみファイル」の活用は個に応じた指導にはなくてはならないものとなっています。今後の課題・方向性として“拡充”とあるのは、適切だと考えています。

《項目No.4 産業教育の充実》

評価の取組み後の効果で、各種検定合格者数がでています。ここで、初級資格の確実な取得から各級の取得状況が記載されていますが、最終、どの検定でも1級を取得することが学習成果の証だと思っています。この達成のためには、教員の教科指導力の向上が不可欠です。

学校教育自己診断の項目の中の4番教科指導の充実についてですが、“あてはまる”と答えている生徒が18.4%、保護者が16.1%とともに2割を切っています。しかし、教職員は69.6%と7割近くになっていて大きな乖離があります。この状況を教職員が、真摯に受け止めて授業改善に努めてもらいたいと思います。

また、評価の点検結果で、商業科の競争率が0.73倍と3年連続の定員割れで、その減少数が大きくなっています。今後の課題・方向性で、「広報活動を充実させていく必要がある」となっていますが、根本的に教育内容や学校の改革に向けて取り組んでいく必要があるのではないかと思います。

《項目No.5 研修・啓発の充実》

今後の課題・方向性に児童虐待について書かれています。警察庁のまとめでは、平成29年度の児童相談所へ通告のあった子供は全国で75,431人と過去最多で、中でも大阪府は9,305人と最多です。このために児童虐待防止に関する研修等の継続による充実は、是非、必要と考えます。

《項目No.11 子どもの安全確保事業の充実》

子供の安心・安全については、先ほども出ましたが、いくら用心してもし過ぎることはありません。平成29年度の取組み内容の子ども安全見守り隊について、各校区で高齢化が進んで人数が減少する中で、29年度の城内小学校区では大幅に増加して630名となっています。これは、どのようなことで増加したのですか。わかれば教えていただきたいし、他の小学校区でも参考のできるのであれば、そういう努力もできるのであればしていただきたいと思います。

《項目No.12 現代的課題をはじめ、多様なニーズに対応した公民館講座の充実》

人生100歳の時代といわれて、QOLで豊かな人生、魅力ある人生は、人にとっての大きな命題となっています。そこに向けて多様な講座を展開することは、大きな意味があります。今後の

課題・方向性として、“拡充”とありますが、これは適切だと考えています。

《項目No.13 「第2次岸和田市子ども読書活動推進計画」の実行》

まずは、ブックスタート事業ですが、平成29年度から4か月検診時の配布によって97.6%の配布率となって、画期的な成果を収めてもらいました。

また、子供向け郷土資料として、これまで4冊の冊子を作成・発刊してもらっています。いずれも内容が充実したもので、子供たちが郷土岸和田に一層親しみを感じるものです。5冊目の作成に向けての取組みを大変うれしく思っています。

《項目No.15 各種スポーツ教室等の開設》

評価の点検結果の初心者水泳教室で、「小学4年生では約半数の児童が、正しいフォームのクロールで25メートルを泳げるようになった」とあります。平成27年度から教育委員会からの要望で4年生も初心者水泳教室に参加できるようになりましたので、この結果を大変うれしく思っています。

《項目No.18 普及啓発事業の推進》

山と海に恵まれた本市において、多様な生物と自然の保護への関心を高めることは、大変重要なことだと考えています。特に評価で、光陽中学校科学部との共同調査が行われ、自然資料館の新たな取組として一層の発展を期待しています。

今後の課題・方向性で、「未就学児をターゲットにした～」と一文があります。身近な例ですが、近所に住んでいる生物が大好きな、当時公立幼稚園児に自然資料館のイベントを紹介したことをきっかけに、欠かさずイベントに喜んで参加しているとのこと。私たちもできることから協力させてもらおうと思っています。

○樋口教育長

いくつかご指摘とご意見をいただきましたが、その件について何か説明や補足があればお願いします。

○西尾生涯学習課長

《項目No.11 子どもの安全確保事業の充実》

子どもの安全見守り隊ですが、各小学校が中心となられて、最近はPTAの方に働きかけをして増えているということは認識しています。地域の団体も頑張っているのですが、高齢化が進んでいますので、実際に参加が難しくなっています。小学校に通われている保護者の方を中心に働きかけをしていただいているということを聞いています。

○中野委員

参考になれば参考にしていただければと思います。

○小林産業高校学務課長

《項目No.4 産業教育の充実》

検定につきましては、1級合格は必須だと考えています。今回、情報処理と英語検定の試験が難しかったようです。報告書には平均を記載させていただきましたが、年2回行われている1回目の試験が全国的にも合格率が低かったことも少し原因になるのかと考えています。しかし、委

員がおっしゃるとおり、指導力の向上や分析を今後も引き続き研究していきたいと考えています。

また、今後の課題・方向性の「広報活動も充実させていく必要がある」ということに対して、教育内容の改革が必要だということも十分考えていかなければならないと思っています。来年度、外部の方のご意見を聞かせていただく機会を作らせていただこうかと考えていますが、特に商業科で先進的に進められている都道府県等に視察を考えており、今年度中にできればと考えています。その辺りの報告もできればと思っています。

○長岡人権教育課長

《項目No.5 研修・啓発の充実》

児童虐待について、平成 15 年度に本市で大きなことがあって、全教職員に年 2 回から 3 回の研修を行っていました。それから 15 年ほど経ち、児童虐待はあつてはならないということで、児童虐待の研修を初任者は必ず受けるようにしていました。しかし、ここ数年研修がなかったようですが、初任者を対象とした人権研修が必ずあります。その中に必ず虐待のことを話ししてほしいと依頼して、今後継続的に全教職員へしっかりと充実させるということで進めているところです。

○樋口教育長

中野委員からのご指摘やご意見で改善できるところは気をつけて、次年度に活かさせていただけたらと思います。

○谷口委員

先に発言された委員とかなり重なりますが、強く言いたいところや出てこなかったことについて発言いたします。

《項目No.1 公立幼稚園における3年保育の段階的实施にむけた体制の整備》

豊かな心や生きる力というのは、今後の課題・方向性にある「住民の利用ニーズ」に必ず入っていますので、人数が少ないからということで実施園に限られるのはいかがか、という評価委員の意見はもっともだと感じました。

《項目No.2 学力向上支援事業・読書活動事業の推進》

事業費のところ、平成 29 年度決算と平成 30 年度予算で 100 万円増加しています。平成 29 年度決算が平成 28 年度決算と同じくらいということから考えると、あえて 30 年度予算で 100 万円増額しているのは、何か明確な目的があるからなのでしょう。

《項目No.4 産業教育の充実》

今回、1級の試験が難しかったとお聞きしました。評価の点検結果で、「学校へ行くのは楽しい」という生徒がいるというのは、“好きこそもの上手なれ”につながるのも良いと思う反面、1級合格者が少なく2級や3級の合格者が多いところを見ると、企業が求める即戦力の人材というところではどうなのかなと思いました。

《項目No.5 研修・啓発の充実》

取組みの目標で、平成 29 年度の「各学校園より 1 名以上の参加を目指す」というのは、あまりにも消極的だと思いますが、参加している人数を見てみると現実的にはそうなのかなとも

します。しかし、先日の教育フォーラムの中でもありましたが、いじめの定義は変わってきていますので、そういうところを先生方が理解していくために、積極的に参加を呼びかけていただければと希望します。

《項目No.6 生徒指導サポート事業の推進》

教育フォーラムにスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの方も来られていましたが、「言われれば行きます」というふうな対応に感じました。適切な人材の確保ができなかったというのは、適正な人材の確保が具体的にどこが足りなかったのかなと思いました。

《項目No.7 自ら進路を選択・決定する力の育成》

小中学校の卒業式では、将来の自分について語る場があって、結構な割合で“看護師”という子供が多いです。そういう職場を体験するところが、あまりないのではないかなと思います。できることは限られますが、場の雰囲気を感じることも非常に参考になるのではないかなと思います。自身の職域で中学校長から頼まれて引き受けたことがありました。その時、会員にも連絡すると3人くらい手を挙げてくれましたので、医師会などにも敬遠せずに声を掛けていただければ協力していただけるのではないかなと思います。できるだけ幅広い職業を見させてあげられれば良いのかなと思います。

《項目No.11 子どもの安全確保事業の充実》

安心安全情報配信件数で、八木南校区がグラフでは突出して多いように見えます。配信件数が今年はまだ多すぎたのか、微に細に配信しているからなのか、その辺りどうなのかなと感じました。

《項目No.14 図書館ネットワークの充実によるサービスの拡充》

今年度から図書館は平日2時間延長しています。時代に即して、夜型になってきているところもありますので、大変ですが延長していただいたのは非常に良いのではないかなと思います。

《項目No.15 各種スポーツ教室等の開設》

大阪体育大学との連携とありますが、具体的にどのような連携をしていたのかなと思いました。

《項目No.19 教育委員会会議の実施状況》

会議の傍聴者がほとんどの開催が0人で、教科書採択の時だけ傍聴者が来ています。他では、毎回何人かは傍聴者がいると聞いています。開かれた教育委員会という意味では、もう少しアピールしても良いのではないかなと思います。

○樋口教育長

いくつかご意見をいただきましたが、その件について何か説明や補足があればお願いします。

○倉垣学校教育課長

《項目No.2 学力向上支援事業・読書活動事業の推進》

予算につきまして、平成30年度予算は29年度決算と比較しますと約100万円、29年度予算と比較しますと約50万円増えています。29年度に関しましては、予算額の約60万円が執行できませんでした。このことにつきましては、当初予定していました授業改善アドバイザーの方が急遽来られなくなったことがあります。また、放課後学習アドバイザーは平日の夕方の勤務のため、

人材確保が難しかった学校が数校ありました。今年度につきましても半期が過ぎますので、執行状況を見ながら人材確保ができていない学校につきましては、あっせんや提供するなどの対応をしていきたいと考えています。

○溝端図書館長

《項目No.13 「第2次岸和田市子ども読書活動推進計画」の実行》

野口委員から出ていました購入図書の市民の希望について、市民全体に対しての図書の購入希望はしておりません。見当たらない本があるときに問い合わせいただきましたら、個別にリクエストという形で購入させていただくか、他の公共図書館との相互貸借という形で取り寄せたりしています。そこまでWEBページできちんとした利用案内ができていないのかなと思いますので、そこは工夫できるのかなと考えています。

図書購入のプロセスは、毎週金曜日に新刊案内という出版社からカタログが送られてきて、それを基に児童書担当職員と一般書担当職員の司書グループと、分館担当の司書のグループとで選書して毎週購入するというプロセスでさせていただいています。

○樋口教育長

工夫できるところは工夫していただければと思います。谷口委員からのご意見も改善事項として、次年度に活かさせていただけたらと思います。

今回、議会に提出する報告書として、この原案の報告書のとおり承認させていただいてよろしいでしょうか。

【一同、異議なしの声】

○樋口教育長

それでは、原案のとおり承認することとします。

議案第40号 補正予算について（事業費補正）

○樋口教育長

議案第40号について、説明をお願いします。

○小林産業高校学務課長

議案第40号につきましては、補正予算（事業費補正）についてです。

報告第54号で報告のありましたブロック塀と同様です。

産業高等学校に設置しているブロック塀につきましては、東側の道路に面した部分、西側の自転車置き場のところの2か所あります。そのブロック塀に関して撤去、フェンス等へ改修することになります。工事費総額9,850千円です。

○樋口教育長

説明が終わりました。報告でありました小中学校及び幼稚園のブロック塀と同じような経緯で産業高等学校の工事費として補正予算を議案として上程しています。

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。
ないようですので、原案のとおり承認することとします。

議案第 41 号 補正予算について（事業費補正）

○樋口教育長

議案第 41 号について、説明をお願いします。

○西尾生涯学習課長

議案第 41 号につきましては、補正予算（事業費補正）についてです。

学校管理課、産業高校学務課と同じように、公民館等に設置しているブロック塀の緊急点検を実施しました。改修の緊急性の高い城北地区公民館及び山滝地区公民館のブロック塀を撤去し、フェンス等へ改修することとなりました。

また、その他緊急性の低い個所については、来年度の当初予算で要求を行います。

○樋口教育長

説明が終わりました。同様の主旨で、今回、城北地区公民館及び山滝地区公民館のブロック塀の改修のための補正予算ということです。

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。
ないようですので、原案のとおり承認することとします。

議案第 42 号 補正予算について（事業費補正）

○樋口教育長

議案第 42 号について、説明をお願いします。

○津田スポーツ振興課長

議案第 42 号につきましては、補正予算（事業費補正）についてです。

先ほど来の説明と同様です。対象の施設は、浜プール、葛城運動広場、久米田講演運動広場、春木台場テニスコート、春木台場青少年広場及び中央体育館です。今回は、道路に面しているということで 6 施設 7 箇所 の補正計上ですが、平成 31 年度当初での予算要求としましては 25 箇所を予定しています。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。
今回は緊急を要する 6 施設 7 箇所、あと来年度 25 箇所もあるんですね。

○津田スポーツ振興課長

はい。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

議案第 43 号 補正予算について（事業費補正）

○樋口教育長

議案第 43 号について、説明をお願いします。

○溝端図書館長

議案第 43 号につきましては、補正予算（事業費補正）についてです。

2 件のご寄附をいただいていますので、平成 30 年第 3 回定例市議会に歳入・歳出補正予算を審議いただくものです。

1 件目は、7 月 25 日に高石市在住の山本清治様から、図書購入に充当のため 50 万円いただきました。2 件目は、7 月 26 日に岸和田市野田町の岸和田ライオンズクラブ様から子ども読書講座の講師謝礼に充当のため 20 万円いただきました。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

2 件とも毎年いただいていますよね。

○溝端図書館長

山本様につきましては平成 23 年度から、岸和田ライオンズクラブ様につきましては平成 27 年度から継続してご寄附をいただいております。

岸和田ライオンズクラブ様から、読書講座で青少年育成のための講座をとということで、岸城中学校のビブリオバトルで優勝された杉本様が紹介していただいた結月先生にこの話を相談させていただいたら快諾いただけましたので、その方向で岸和田ライオンズクラブ様に了承をいただきましたので、その方向で調整させていただいているところです。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

○樋口教育長

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

ないようですので、これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後 3 時 50 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員